

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 750 号 [Website] <http://www.print.or.jp>
[E-mail] info@print.or.jp

11

2018

平成30年
11月10日発行

INDEX

印刷燦燦	3
第5回理事会開催	4・5
2018全日本印刷文化典高知大会開催	6
第24回北海道青年印刷人フォーラム報告	7
平成30年度オフセット印刷技能検定合格者	7
平成31年新春経営者研修会「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案セミナー」案内	8
北海道印刷関連業協議会平成31年新年交礼会案内	8
岡部康彦顧問が旭日双光章受章	9
全印工連組合功労者顕彰受賞者	10
ハイデル・フォーラム21「北海道地区会セミナー」案内	10
業界のうごき	10

《表紙》小樽ゆき物語・青の運河（11月～2月 小樽市）

——寒い季節をロマンチックに彩るイルミネーション。小樽運河もこの時季だけ特別に、青色LEDが1万個施されます。おすすめは日没後、まだ空に青みが残るブルーアワーの時間帯。イルミネーションの青と空の蒼が相まって、幻想的な小樽運河を楽しむ事ができます。期間中は、人気の運河クルーズも青色の電飾を纏い、運河内を周遊します。（小樽ゆき物語公式WEBサイトより）

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072

UD
FONT
BY MORISAWA

280
古紙パルプ配合率90%再生紙を使用

VEGETABLE
OIL INK

GREEN PRINTING INK
P-010129
ZINCHROMA社製環境配慮型
印刷用インク

CSR
P-00023

この印刷物は、CSRに
取り組む印刷会社が製作
した印刷物です。

印刷 燦 燦

日本人の助け合いの心

今年も日本列島を7月から台風が5回も襲いました。

北海道にも台風のと直ぐに、9月6日未明に胆振東部地震が襲いました。

山が崩れ多くの方が亡くなりました。

電気が止まり、ガソリンスタンドが止まり、マンションではエレベーターが止まり、水が止まりました。

我が家の隣のマンションに住む人々は、水を求めて、300mも離れた公園で長い列ができていました。

直ぐに工場の水道を開放しましたが、元気な人々は水を取りに来ていましたが、高齢の人々は来ていませんでした。

私と妻は、水を持ってマンションの高齢の人々の部屋を回りました。

階段で14階まで上がるのは大変でした。

その様子を見ていた向かいの若いご夫婦が水運びを手伝って下さいました。

困っている時、日本人は助け合えると思ひ嬉しかった。

人は普段、水、空気、電気など当たり前と有ると思ひていますが、無くなった時に有り難さが分かるものです。

北海道印刷工業組合も、有る時は当たり前と思ひていますが、無くなった時に大事だと思ひても遅いので、組合員皆が助け合い共に発展していけますよう祈っています。

北海道印刷工業組合監事 **加藤 憲一**
有限会社加藤印刷 代表取締役

組合員メリットを数値化・事業への積極参加

平成30年度第5回理事会開催

平成30年度第5回理事会が、10月12日午後1時30分から札幌市中央区のかでる2・7で、全道から理事11人と監事2人が出席して開催され、下期北海道地区印刷協議会の運営方法、組合員メリットの周知の仕方、台風21号・北海道胆振東部地震による被災組合員への対応方法などを協議・決定するとともに新しく2社の組合加入を承認した。

理事会は、岸理事長のあいさつの後、定数報告が行われ、理事長を議長に議事に入った。

最初に報告事項として、

- (1)事業実施状況について、北印工組の事業、全印工連・日印産連の事業、関係団体の事業に大別して、8月に開催された第4回理事会以降の活動状況が報告された。
- (2)財務状況について、9月末の中間決算（第2四半期）の貸借対照表、損益計算書、予決算対比表、賦課金納入状況が説明された後、細木・加藤監事による中間監査が行われ、処理・内奥は適切である旨の監査報告をいただいたことが報告された。
- (3)平成30年度被表彰者について、日印産連印刷振興賞を西智樹氏（㈱パスカル・プリンティング・札幌支部）、全印工連組合功労者顕彰を井田多加夫氏（㈱井田印刷工房・旭川支部）が受賞したことが報告された。

次に、議事に移り、

- (1)平成30年度下期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共催事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、組合80周年誌編纂の準備を柱とした各事業の実施スケジュールが説明され、決定された。

組織の拡大では、組合員ならびに賛助会員の加入促進を引き続き進めるとともに組合員台帳の

100%提出を目標に呼びかけを行うこととした。未来を創る業界運動の展開では、各種事業の啓発を行うとともに来年4月から働き方改革関連法案が改定されるのを踏まえ、経営者研修会として「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案セミナー」を開催する。

- (2)北海道地区印刷協議会の運営については、平成30年度下期北海道地区印刷協議会を3月8日（金）にガーデンシティ札幌駅前で開催することとし、全体会議、分科会（委員会）、総括会議、情報交流会（懇親会）を開催する。

分科会（委員会）は、組織共済、経営革新マーケティング、教育研修、環境労務、青年部の5分科会で、全支部より参加してもらえよう周知活動を行っていく。

- (3)組合員メリットについて、全印工連ならびに北印工組の事業を利用することによるメリットを数値化して、利用事業から生まれる金銭メリットと賦課金を対比して、事業への参加を呼びかけていく。

例示とした北印工組の組合員では、支部賦課金と北印工組賦課金の年額が251,200円で、利用事業から生まれるメリット金額は1,043,720円で、差し引きすると792,520円の金額メリットを享受している。

- (4)台風21号・北海道胆振東部地震の被災状況について、台風21号による組合員の大きな被災は報告

されていないが、北海道胆振東部地震では、停電による営業被害のほか、9社の組合員が建物および工場設備等の被害を受け、その状況が報告された。

なかでも震源地に近い地域の組合員1社が建物ならびに工場設備に甚大な被害を受けていることから見舞金を贈ることが協議された。



(5)第6回理事会・第2回経営者研修会について、1月10日(木)に札幌グランドホテルで13:00から理事会、14:15から経営者研修会「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案セミナー」を開催する。

(6)新規加入組合員の承認について、2社の組合加入を承認した。

山藤三陽印刷株式会社(札幌支部 平成30年9月1日加入)
有限会社成瀬印刷(旭川支部 平成30年10月1日加入)

(7)委員会活動状況について、各担当委員長から説明された。

①経営革新・マーケティング事業委員会(岡部委員長)

- ・事業承継センターの利用は、北海道はゼロ件である。相談は無料となっている。
- ・事業承継ガイドブックを発行しているが、北海道の購入は4冊だけである。
- ・事業承継セミナーは、山田コンサルティンググループ(株)から講師謝金ゼロで、旅費のみで開催できる。
- ・共創ネットワーク通信を利用してほしい。
- ・勝ち残り合宿ゼミを2月22日・23日、大阪で開催する。

②労務・環境事業委員会(大和副理事長)

- ・GP認定工場、環境登録推進工場の普及を推進していく。

- ・オフセット印刷工場用VOC警報器の普及を推進していく。
- ・1月10日の「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案セミナー」に参加してほしい。

③教育・研修事業委員会(西山副理事長)

- ・アドバイザープログラムを普及を推進していく。
- ・DTP技能検定を実施するので、多数受検してほしい。
- ・印刷営業講座・認定試験の改定が行われマーケティングが基本になった。
- ・管理印刷営業講座・印刷生産士講座のカリキュラムの見直しを進めていく。
- ・遠隔教育システムを利用してほしい。

④青年部事業委員会(矢吹委員長)

- ・9月15日に第24回北海道青年印刷人フォーラム・全青協北海道ブロック協議会を20人が参加して、エンゲージメント思考・感動と共感をテーマに開催した。
- ・3月の地区協に全道から参加してほしい。

この後、各支部の活動状況について支部長から報告が行われた。

北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<http://www.print.or.jp>

2018全日本印刷文化典高知大会開催される

「土佐で語ろう 印刷の未来」をテーマに550人が集う

2018全日本印刷文化典高知大会が、10月5日午後1時30分から、高知県高知市の三翠園で「土佐で語ろう 印刷の未来」をテーマに、全国から約550人の印刷産業人が集い開催された。

記 念式典は、奥田章雄四国地区印刷協議会会長が「文化典の四国開催は2004年の香川大会以来14年振りの開催となる。この間、業界は大きく変わった。今回のテーマは『土佐で語ろう 印刷の未来』である。これからの印刷の未来をどのように描くのか共に語り合いたい」と開会宣言を行った。

国歌斉唱に続き、開催工組を代表して酒井陽典高知県工組理事長が、「ふくしま大会での実りをベースに、我々が今持っている印刷の力、これから新しい必要な力、未来に向けての種まき、方策などを本音で語り合う場を準備してきた。高知の食・酒・おきゃく文化を体感していただくことが、胸襟を開いて語り合える1つの力になることを信じている」と歓迎あいさつを述べた。

次に、臼田真人全印工連会長が、「全印工連では『Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業』をブランドスローガンに掲げ、印刷産業の向かうべき方向性を共有し、人々の幸せを創り続ける印刷産業を実現するために取り組んでいる。働きがいのある、人々を惹き付ける印刷産業の確立は急務であり、全印工連ではプロジェクトチームを立ち上げ、『幸せな働き方改革』への取組を進めることにした。『幸せな働き方改革』は、組合員企業の従業員がやりがいを持ち、安心して働き続けられる職場づくりによって、新たな付加価値を創出し、顧客満足度を高め、ひいては組合員企業の業績向上に繋げることが目的である。改革の必要性を理解し、各社がHappiness



Companyを目指してほしい」と式辞を述べた。

次に、来賓紹介が行われ、来賓を代表して世耕弘成経済産業大臣（吉川四国経済産業局長代読）、中谷元衆議院議員、尾崎正直高知県知事（岩城副知事代理）から、それぞれ祝辞が述べられた。

表彰に移り、印刷産業発達功労者顕彰が大迫三郎氏（宮崎県）、四橋英児氏（岐阜県）の2人に贈られた。

組合功労者顕彰が井田多加夫氏（㈱井田印刷工房・旭川支部）をはじめ全国の75人に、優良従業員表彰が70人に贈られた。

受賞者を代表して、印刷産業発達功労者顕彰を受けた大迫三郎氏（全印工連相談役、宮崎県工組顧問）から謝辞が述べられた。

つづいて、中島大輔高知県工組青年会会長から印刷文化典宣言が発表され、満場の賛同で採択された。

最後に、筒井善樹2018全日本印刷文化典実行委員長・高知県工組副理事長が閉会の辞を述べ記念式典を終了した。

印刷文化典 高知宣言

私達、印刷産業は現在に至るまで、社会に情報を伝え、広め、そして残してきた。

見やすく、読みやすく、感性に訴え、感動を伝え、記憶に残る印刷物。

活字の時代から大切に培ってきた「ものづくり」へのこだわりです。

時代は変わり印刷産業の装置の進化もさることながら、コンシューマー向けの装置の進化はすさまじく、IT・IoT・AI技術の進化はさらにすさまじいものがあります。社会の急激な変化の中で私達印刷産業は、ものづくりのこだわりを持ちながらも「ことづくり」に傾注すべきだと考えます。効率よく刈り取ることから、次世代へ向けての種まきをすることに目を向けることが重要と思われまます。

私達の印刷の力を強いものとし、印刷産業がもつ多様な顧客、様々なチャンネルを活かし、地域社会での役割を果たすとともに、豊かな生活と文化を支える産業として、社会に貢献することを宣言します。

平成30年10月5日

2018全日本印刷文化典高知大会

第24回北海道青年印刷人フォーラム報告

平成30年9月15日、第24回北海道青年印刷人フォーラムを行いました。

9月6日の北海道胆振東部地震、北海道全土の大停電という大災害の翌週ではありましたが、全道各地から20名の参加者が集まりました。

フォーラムでは全青協青木議長より2030年の状況変化を背景に印刷業界は次のビジネスモデルへアップデートするために「エンゲージメント思考」が必要ではないかと投げかけられました。エンゲージメント思考という言葉は初めて聞く人も多く全青協として「共感で人と人とを繋ぎ感動をもたらす」と定義し、共感、感動のつながりを作る事で2030年に光り輝く印刷産業を目指すという取組を説明されました。

その後、山本副議長のセミナーではエンゲージメントの重要性や可能性を説明。顧客に感動を与え共感してもらうためにはより高いサービスが必要であるという事でハイサービス日本300選を紹介。次に札幌のプリントハウス(株)加藤社長よりハイサービス300選企業である小樽職人の会と北陽ビジネスフォーム(株)岡部専務より(株)富士メガネの企業調査発表が行われました。

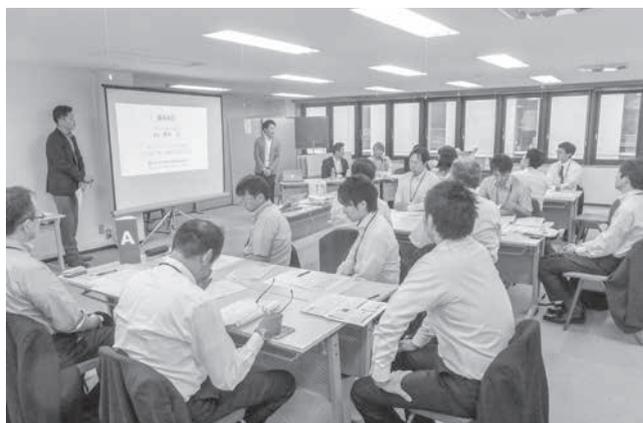
どの企業も仕事に対する信念と顧客満足への工夫と熱意があり、ファンによるリピート、口コミによって輪を広げていました。

次にこれらを踏まえて印刷業におけるハイサービスとは何かをテーマにしたワークショップを行いました。

ワークショップでは3つのグループに分かれ、それぞれサービスのアイデアを出し合いました。すぐに出る人、考え込む人もいましたが沢山のアイデアが出て、社内でもやってみたいという意見も出ていました。

今回のフォーラムで、各社取り組んでいるサービスの意見交換が出来、お互いがより高いサービスを行い北海道の印刷業界全体が盛り上がる一助になればと思います。

(青年部事業委員長 矢吹英俊:記)



印刷技能士おめでとうございます

平成30年度オフセット印刷技能検定の合格者が、このほど、発表になった。
組合員企業の合格者は次のとおり。

2 級	曾我部尊廣 (株)メディア・ワン・札幌支部)、岸山宗一郎 (岸山印刷(株)・南空知支部)
-----	--

平成31年新春経営者研修会 「知らなかったでは済まされない労働法 と労働基準法改正案セミナー」のご案内

北海道印刷工業組合は、平成31年新春経営者研修会「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案セミナー」を下記により開催する。

少子高齢化が進展し、生産人口が減少していく一方で、新卒採用をはじめとした若年労働者の確保が難しくなりつつあり、経営上の大きな課題となっている。

このようななか、働き方改革に関し、政府から実行計画案が平成29年3月に出され、労働基準法についても審議されている。

働き方改革の3つの柱、同一労働同一賃金、長時間労働の是正、生産性の向上を実現するためには、改正法規の内容を理解したうえでなければ到底不可能であり、さらに人材の確保もより難しくなる。

本セミナーでは、受注型産業である印刷産業の現況に精通している講師により、労働法・労働基準法を改めて確認し、今後の法改正の方向性と対策を学ぶ。

これにより、遵法による職場環境の改善、環境面においては労働安全衛生環境の整備を図り、多様化した働き方に対応した就業規則、給与規定の導入などを実現し、従業員がやりがいを持ち、安心して働ける職場づくりによって、新たな付加価値を創出して、顧客満足を得ることで、業績向上につなげる契機としていきたい。

記

1. 日 時 平成31年1月10日(木) 午後2時15分～午後4時15分
2. 会 場 札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 TEL011-261-3311）
3. 講 師 株式会社GIMS 特定社会保険労務士 小倉絵里 氏
（全日本印刷工業組合連合会環境労務委員会特別委員）
4. 受 講 料 無 料
5. 定 員 60人
6. 申込期日 平成30年12月20日(木)〔申込先着順で定員になり次第締め切る〕

北海道印刷関連業協議会 平成31年新年交礼会

北海道印刷関連業協議会の平成31年新年交礼会が下記により開催される。

日 時	平成31年1月10日(木) 午後5時	会 費	8,000円
会 場	札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）		

平成30年秋の叙勲 岡部康彦氏が旭日双光章を受章

平成30年秋の叙勲において、岡部康彦氏（北海道印刷工業組合顧問・元理事長）が、長年にわたる印刷業界に対する業界振興の功績が認められ栄えある旭日双光章を受章した。



岡部康彦氏

北海道印刷工業組合顧問・元理事長
北陽ビジネスフォーム株式会社代表取締役会長
株式会社北診印刷代表取締役社長

岡部康彦氏は、昭和54年2月、ビジネスフォーム印刷を主力製品とする北陽ビジネスフォーム株式会社を設立し、代表取締役社長に就任、以後社業の伸展を図りながら後継者の育成に努め、平成23年4月代表取締役会長に就任している。

また、社業のさらなる充実を図るため、平成11年5月、一般印刷を主力製品とする株式会社北診印刷に出資し、代表取締役社長に就任している。

平成8年5月から北海道印刷工業組合理事、平成10年5月から副理事長、平成16年5月から理事長、平成26年5月から顧問に就任し、さらに、平成16年5月から全日本印刷工業組合連合会常務理事、平成26年5月から参与に就任し、北海道のみならず全国の印刷産業の振興発展に尽力し、業界の組織強化と経営基盤の確立に努めた。

平成24年9月には、2012全日本印刷文化典北海道大会を、札幌市において開催し、実行委員長としてその企画運営にあたり、全国から参加した600余人の業界人より、その卓越した指導力・包容力を大いに評価されたほか、北海道印刷業界の団結力を全国に宣することとなった。

そのほか、北海道中小企業団体中央会常任理事、札幌商工会議所情報メディア部会副部長、社団法人日本印刷産業連合会理事、北海道印刷関連業協議会会長、財団法人印刷図書館評議員、協同組合北海道中小企業福祉センター（現北海道中小企業ネットワーク協同組合）理事、全国印刷工業健康保険組合理事、北海道印刷工業厚生年金基金理事長などの多くの要職を歴任し、地域中小企業の振興に尽力した。

全印工連組合功労者顕彰 おめでとうございます

2018全日本印刷文化典高知大会が、10月5日に高知県高知市の三翠園で開催され、長年にわたり業界の指導・育成に尽力され、振興発展に大きく貢献された方々の表彰が行われた。北海道からは、組合功労者顕彰を井田多加夫氏が受賞した。



井田多加夫 氏

北海道印刷工業組合顧問・前副理事長
株式会社井田印刷工房代表取締役
旭川支部

ハイデル・フォーラム21「北海道地区会セミナー」のご案内

ハイデル・フォーラム21は、昨年、創業70周年を迎えた老舗の印刷会社、佐川印刷株式会社（本社：愛媛県松山市）代表取締役社長の佐川正純氏を講師に迎え、「北海道地区会セミナー」を開催する。

佐 川印刷は、「コミュニケーションで、人と社会を豊かにする」という信念のもと、印刷に限らずさまざまなサービスによって価値を提供している。先進的な自動化に取り組むなかで、生産性のみならず、職場環境においても、人と機械の連携によって社員の働き方改革に取り組み、女性が活躍できる職場として

の魅力や、ダイバーシティ推進、さらには地域活性化などにも取り組んでいる。

少子高齢化、過疎化など地方衰退による課題を抱えながら「Your Communication Partner」を企業スローガンにさまざまなその取組について話していただける。

日 時	平成30年12月6日(木) セミナー15:30~17:00/懇親会17:00~18:30
会 場	ホテルライフオート札幌（札幌市中央区南10条西1丁目 電話011-521-5211）
テーマ	「人と社会を豊かにするために、今、印刷会社がなすべき課題とは？」
講 師	佐川印刷株式会社 代表取締役社長 佐川正純氏
参加費	無 料

受講申込みは、HDF21事務局（ハイデルベルグ・ジャパン内）担当：太田/久保Tel：03-5715-7373まで。

業 界 の う ご き

▶富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)北海道支店長に畑 貴史氏

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社北海道支店（札幌市中央区大通西6丁目1番地 富士フィルム札幌ビル）は、このたび、竹中知久支店長が本社ワイドフォーマット営業部長として転勤され、新しく北海道支店長に畑 貴史氏が就任した。

お悔やみ

横野 亮氏（有限会社ヨコノ印刷会長・本部直轄）は、10月22日ご逝去されました。91歳。

通夜は10月23日午後6時30分から、葬儀は24日午前10時から、いずれも檜山郡江差町内のセレモニーホール翔天閣でしめやかに執り行われました。